



2024(令和6)10月例会ご案内

〈桜井南部の史跡めぐり〉



万葉のふるさと桜井南部に、美しい十一面観音立像で有名な聖林寺、日本三大文殊の一つに数えられ、コスモスの花で彩られた安部文殊院と巨大埴輪列出土で有名なメスリ山古墳などを訪ねます。

日 時 2024(令和6)年 10月 13日(第2日曜日)

コース

JR/近鉄・桜井駅/駅の南側バス停に「集合」-----バス-----バス停・聖林寺
～～ 聖林寺(拝観) ～～ 釈迦石仏 ～～ 一の鳥居 ～～ メスリ山古墳(昼食)
～～ 安倍文殊院(文殊院東・西古墳) ～～ 土舞台(安倍山城跡)～～
JR/近鉄・桜井駅[解散場所]

_____印 トイレ所在地

- ◆ 行 程 : 約5m。
平坦な下りの舗装道路を歩きます。
- ◆ 全員集合場所・時間: 近鉄/JR桜井駅(南側バス停) 10時20分
- ◆ 解散場所と解散時間: 鉄/JR桜井駅 午後4時
- ◆ 服 装 : 水筒、雨具など持参。歩きやすい靴・服装で
- ◆ 食 事 : 弁当持参 JR桜井駅にコンビニがあります。
- ※ コロ ナ対策について
このところ感染者減少の傾向がみられ、マスクの着用については「個人の断に委る」ことになりましたが、当会が高齢であり集団行動であることを考慮して「マスク着用」での参加としますのでご協力をお願いします。また、発熱・体調不良の方は参加をお控えください。
- ◆ 雨天中止: 前日の午後8:45分のNHKニュース中の天気予報で、奈良県北部の午前中の降水確率が60%以上であれば中止。

※不明の時は会長(携帯080-6112-3406)まで。

◆ 集 金: 聖林寺拝観料一人600円。

◆ バス代: 桜井駅→聖林寺駅は@270円です。小銭の用意を

※当日会員は“当日会費”として一人500円をいただきます。

《交通機関のご案内》

※生駒線利用の方は次の電車でおいで下さい

近鉄 生 駒 駅	↓	8 : 3 5 分 発	王寺行きに乗車
〃 萩 の 台 駅	↓	8 : 4 4 分 発	↓ ↓ ↓
〃 東 山 駅	↓	8 : 4 6 分 発	↓ ↓ ↓
〃 元 山 上 口 駅	↓	8 : 4 8 分 発	↓ ↓ ↓
〃 平 群 駅	↓	8 : 5 1 分 発	↓ ↓ ↓
〃 竜 田 川 駅	↓	8 : 5 3 分 発	↓ ↓ ↓
〃 王 寺 駅	↘	8 : 5 9 分 着	下車、乗換
〃 新 王 寺 駅	✓	9 : 1 5 分 発	西田原本行きに乗車
〃 西 田 原 本 駅	↘	9 : 3 3 分 着	下車、乗換
〃 田 原 本 駅	✓	9 : 4 3 分 発	各停
〃 大 和 八 木 駅	↘	9 : 5 0 分 着	下車、乗換
〃 〃 駅	✓	9 : 5 6 分 発	準急
〃 桜 井 駅	↘	1 0 : 0 3 分 着	下車、集合

◇◇◇ 大阪/上本町方面から

近鉄上本町駅 9 : 3 4 分 発 / 近鉄桜井駅 1 0 : 1 3 分 着 の
伊勢中川行急行に乗車。

◇◇◇ JR 奈良方面から

JR 奈良駅 9 : 4 3 分 発 / JR 桜井駅 1 0 : 1 0 分 着 の
JR 万葉まほろば線高田行に乗車。

2024年9月例会(9月12日)報告 担当/河本・福嶋

～国立民族学博物館と大阪歴史博物館を訪れる～

9月になっても厳しい暑さの中、町バスと、二つの博物館の冷房がありがたく感じられた。予定通り朝8時45分に役場前を出発、第二阪奈道路と近畿自動車道を通り、万博記念公園にある国立民族学博物館に向かった。



車中、この博物館には、1970年の大阪万博に収集された世界の民族の展示物が多く含まれることや、同じ発音で、伝承などを対象とした民俗学の話があった。館内は大変広く、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニア、アジア、中国、朝鮮半島、日本の世界中の興味深い展示物があり、1時間半の見学時間でも短いぐらいであったが、多様な民族の文化や習慣に触れることができた。



万博記念公園近くのレストランで食事をとり、その後、名神高速道路、阪神高速道路を經由して、大阪城横の大阪歴史博物館を訪れた。10階から、7階まで展示があった。難波の宮大極殿の一部が実物大に復元された10階からは、宮跡の史跡公園が展望でき、当時の難波津が説明されていた。また、8階には特集展「難波の考古学」にて、実際の発掘現場の地面の一面を運び込み、柱跡の実際の出土状況が体感できた。



途中大きな渋滞がなく、順調にバスを走らせることができ、予定より1時間近く早く、平群町役場に戻ることができ、解散した。運転していただいた町バス運行管理会社[まほろば]の関根さん、葛本さん他関係者の皆様ありがとうございました。また参加された皆様、お疲れさまでした。(福嶋) [参加者 20名]





阿弥陀如来(中国)

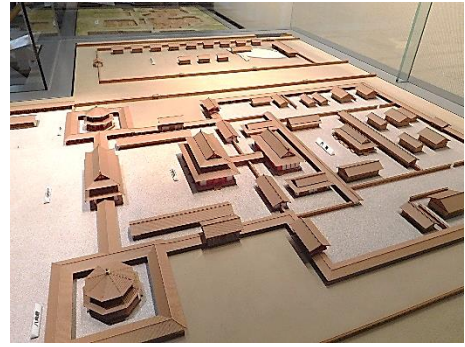


宝生如来(中国)



なかなか見る機会がない
太陽の塔のおしり？





◆◆◆企画部より◆◆◆

機関誌『烏兔第103号(2025年3月発刊)』原稿募集

機関誌『烏兔』は昭和48年(1973)創刊号発刊以来、たゆみなく出版し来年は第103号になります。

つきましては下記要領で会員皆様の原稿を募集します。また、親しみやすい機関誌にするために皆様の声もお寄せください。

- ・原稿内容：旅行記、史跡・文化財に関することなど何でも
- ・原稿の字数：400字詰め原稿2～5枚程度（字数相談に応じます）。
手書きでOKです
- ・締め切り：2024（令和6）年12月末
- ・提出先：河本または最寄りの役員まで

みんなのひろば



昔とった杵柄のはなし

「こんにちは～」…テレビの音量100の中をくぐりぬけ、負けじと挨拶する

眼鏡ごしに表情を変えず「あんなあ～ 顔拭いてや～」といつものセリフ 難病の為ベッドの上での生活を余儀なくされ自らは動けない〇〇さんにとって体を拭いてもらうのは唯一無二の楽しみである

バケツに50度の湯を入れ 在宅の最新式ベッドを操作しタオルで顔 腕 手 上半身を順に拭いていく 「熱いなあ～」と言いながらも満足のご様子 皮膚が乾燥し痒みを伴うので軟膏を塗布する 仕上げは背中全体に空気を入れながらヘルパーの手で搔く 「そこそこ もうちょっと下…」と 次はオムツ交換 同居の家人も進行性疾患があり介護力不足は否めず ケアマネージャーを始め地域の支援者に生活全般を支えられているが 動けないだけで意識はしっかりしているため要求度は高い

こちらの支援に入り半月 2年間のブランクはあるものの少しずつ手が動けるようになり 当初は気難しい表情で“じい～”とヘルパーのやり方を見ていたが 近ごろは「おねえさん…」と話しかけて(ホントはおばあさんなのに)くれたりする

最後は「ヘルパーが帰るから玄関の鍵閉めといてと言っ」と毎回の言葉であるが ご自身が動けない不安な気持ちを感じ 本人にも聞こえるように家人に伝える

知人のヘルパー事業所の育休要員としてたのまれたのであるが これもひいては“子育て支援の一環かあ～”とほくそえむ私なのである

山崎定子(若葉台)

※会員のみなさんの投稿をお待ちしています

平群史蹟を守る会